

## 「第1回防災推進国民大会」への参画（首都直下地震をテーマとしたシンポジウム等の実施）について

### 1. 参画概要

- 日 時：2016年8月27日（土）、28日（日）
- 会 場：東京大学 本郷キャンパス内 小柴ホール／山上会館／小柴ホールホワイエ
- 目 的：内閣府等が開催する「第1回防災推進国民大会」に参画し、首都直下地震をテーマとしたシンポジウムやワークショップ、また、損害保険業界の防災・減災に関する取組みに関する展示を実施し、消費者の防災・減災意識の高揚を図る。

### 2. 各プログラムの内容

- (1) シンポジウム「20XX年首都圏直下地震 その時、私たちの生活は」 参加者数：184名  
(8月27日（土）14時～16時、小柴ホール)

#### ア. 主催者挨拶（一般社団法人日本損害保険協会 堀専務理事）

○概要は以下のとおり。

- ・東京を含めた首都圏における防災面での喫緊の課題の1つは首都直下地震への備えである。
- ・パネルディスカッションを通じて、首都直下地震に対する備えと行動を考え、学びや気づきを地域の防災力向上に役立ててほしい。



主催者挨拶

#### イ. パネルディスカッション

熊本地震、東日本大震災、阪神・淡路大震災の被害をスライド・データで振り返った後、以下の登壇者によるパネルディスカッションを実施。

○登壇者：

コーディネーター 谷原和憲氏（日本テレビ報道局）

パネリスト 中林一樹氏（明治大学大学院 政治経済学研究科 特任教授）

三宅弘恵氏（東京大学大学院情報学環／地震研究所 准教授）

廣井 悠氏（東京大学大学院工学系研究科 准教授）



パネルディスカッションの様子

○テーマと主な内容：

#### ①「揺れを知る」（解説者：三宅弘恵氏）

- ・首都直下地震は発生場所が不明であり、様々な発生場所での想定がなされている。
- ・発生時の震度の大小は地盤の固さが影響し、都内でも埋立地の多い沿岸部が揺れやすいことが分かってきている。
- ・揺れに加え、津波や火災も併せた複合災害発生の可能性も認識しておく必要がある。

#### ②「被害を知る」（解説者：中林一樹氏）

- ・首都直下地震のうち、最も大きな被害が想定されている都心南部地震では、環状7号線付近の木造家屋密集地などで被害が特に大きくなる。同地震では最大で建物の全壊610,000棟、そのうち地震火災での焼失は412,000棟が想定されている。
- ・一方、東京湾北部地震では、阪神・淡路大震災の3倍近い火災発生が想定されており、首都直下地震への対応では火災が大きな課題である。
- ・家屋が倒壊すると火災が多発する。よって、被害軽減のためにはまず耐震化や家具固定等の自助が重要である。さらに、自助により自分や家族を守れば共助が可能となり、公助が有効になる。

#### ③「生き抜くために」（解説者：廣井悠氏）

- ・首都直下地震では大量の帰宅困難者（車両・歩行者）による「渋滞」の発生が想定される。この「渋滞」が、救急や消火活動などの災害対応の阻害や避難行動の遅れを生じさせる。

- ・「渋滞」の解消には、企業による従業員の滞留や車両による送迎を控えることが有効である。
- ・火災がどこで発生しているか分からない同時多発火災状況下ではいつの間にか火災に囲まれることになる。率先して避難する心構えが必要である。

#### ④谷原コーディネーターのまとめ

- ・本シンポジウムでは首都直下地震の全体像を論議したが、一人ひとりが置かれている状況は異なる。
- ・したがって、本シンポジウムで学んだ内容を自分用にカスタマイズし、首都直下地震について考え、備えるきっかけとしてほしい。

### (2) ワークショップ「首都直下地震を想定した避難所図上演習」 参加者数：38名

(8月28日(日) 13時30分～15時、山上会館)

ア. 主催者挨拶(一般社団法人日本損害保険協会 深田常務理事)

○概要は以下のとおり。

- ・首都直下地震発生時には避難所の運営は大きな課題であり、ワークショップを通じて、避難所では何が起き、どう対処するかを考えてもらい、学びや気づきを避難所の運営が必要となった際に役立てて欲しい。

イ. 避難所図上演習

○コーディネーター：木村拓郎氏(一般社団法人 減災・復興支援機構 理事長)  
宮下加奈氏(同 専務理事)

○概要は以下のとおり。

- ・最初に、避難所運営の基礎知識、避難所の実例や首都直下地震の避難者数、避難所の悪環境による災害関連死などの解説があった。
- ・その後、6つの班に分かれて①学校施設(避難所スペース)の使い方、②入所時の注意事項、③トイレの使い方、④高齢者や災害時要援護者への配慮などの課題について演習を実施し、講評がされた。



ワークショップの様子

### (3) 展示(損害保険業界の防災・減災に関する取組み)

(8月27日(土)・28日(日)、小柴ホール ホワイエ)

○展示内容

- ・ぼうさい探検隊、ぼうさいダック、防災・減災一般市民向け取組み、地震保険、各社等の防災・減災の取組みなどのパネル展示、冊子等配付



展示の様子

## 3. 来場者の声

終了後のアンケートでは、満足度については「期待以上」または「期待どおり」との回答がシンポジウムは95%、ワークショップは85%を占めた。参加者からは、「首都直下地震について、それぞれの専門家の方のデータをもとに、説得力のある説明で良くわかった。」「避難所の運営にあたり、普段の生活では考えつかない問題点が多くあることが分かり勉強になった」との感想が寄せられた。

以上